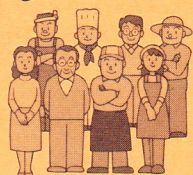


平成 24 年度大和市市民活動推進補助金事業

認知症サポーターの実践講習会

主催 社会福祉士の会「やまと」

認知症の方との接し方を学ぶ



認知症サポーターのみなさん、具体的な接し方や
支援方法をもう少し深く学んでみませんか？
安心して暮らせる元気な地域を共に
作っていきましょう。



講習日：2012 年 9 月 9 日、10 月 6 日、11 月 17 日の 3 回

受講費：1 回につき 300 円

会場：大和市保健福祉センター（小田急江ノ島線 鶴間駅前から徒歩 5 分）他

締切：先着順で各講習日の三日前。（各 50 名）

（定員を越えた場合は各講習日の二日前までにご連絡します。）



平成 24 年 9 月 9 日（日）大和市保健福祉センター 13：30 ～ 16：00
脳を元気に！回想法（認知症と回想法）

講師 社会福祉士 横浜回想法研究クラブ会長 佐々美弥子氏
認知症の方とお話しするときの具体的な手法を学びます。



平成 24 年 10 月 6 日（土）特別養護老人ホーム 13：30 ～ 16：00
施設体験をしよう

施設に出かけて認知症の方と直接ふれあってみましょう。
施設名など詳細については後日連絡いたします。



平成 24 年 11 月 17 日（土）大和市保健福祉センター 13：30 ～ 16：00
脳を元気に！レクリエーション＋交流会

受講者の交流、レクリエーションなど。

申 込 書

このまま切り取らずにFAXで送信して下さい。

申込先：FAX 046-219-0565（山本） 電話 090-5532-2552（藤田）

◎参加を希望される日をお選び下さい。全ての講習へのご参加を歓迎します。

◎受付は毎回 13 時 00 分からです。受講当日、受付で 300 円をお支払い下さい。

お名前	電 話		
住 所 〒			
参加希望日に ○をして下さい。	9月9日(日) 13:30～16:00	10月6日(土) 13:30～16:00	11月17日(土) 13:30～16:00



昨年度の活動報告



2011年8月6日(土)
於：大和市渋谷学習センター

社会福祉士の平岡多喜子講師による認知症サポーター基本講座を行いました。

認知症の方に対して、サポーター講座を受ける前の対応と、受講後の対応の変化を寸劇に演じ、好評を得ました。

2011年9月3日(土)
於：大和市渋谷学習センター

社会福祉士の横浜回想法研究クラブ会長 佐々美弥子講師による回想法の講習を行いました。

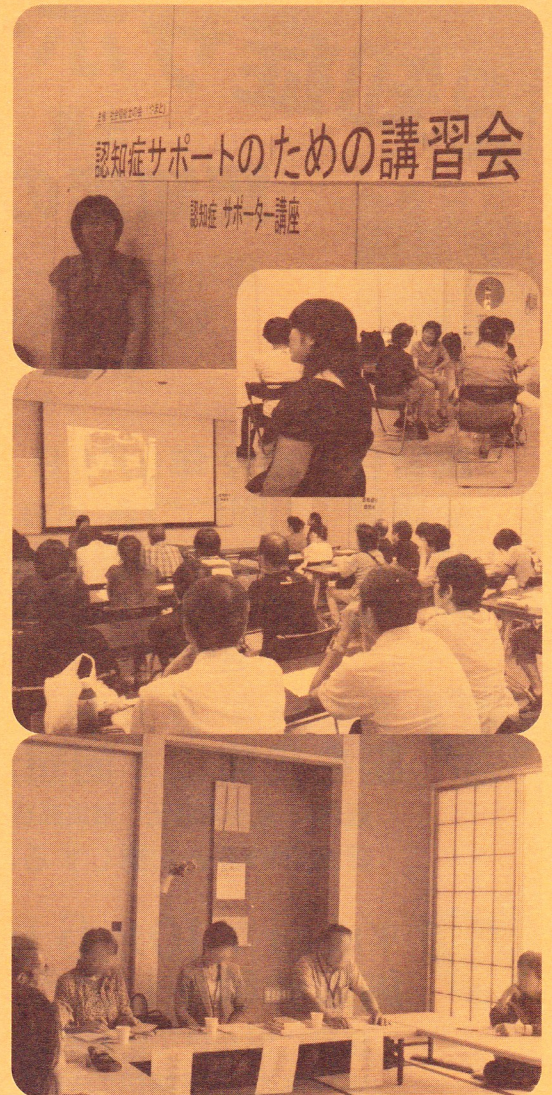
懐かしい映像を見ることから始まり、二人一組で互いに10分ずつ話す手法を体験しました。10分間はあっという間に過ぎてしまうのが驚きであるという声が多くありました。

2011年10月1日(土)
於：大和市渋谷学習センター

三人の介護経験者にお話をしていただき、参加者全員が一人ずつ話をする時間をもうけて交流しました。

実体験によるお話は迫力があり、参加者のみなさんの心に響いたようです。

また、自ら話す機会を望まれておられる方も多いように見受けられました。



今回の研修会はいかがでしたか。思いついたこと、印象に残ったことなど。

- ・認知症の対応を良い例・悪い例の寸劇、リングの価値が良かった。
- ・認知症の方への声のかけ方など知ることが出来た。
- ・認知症についての知識がまったく無かったが、冊子と説明でわかりやすかった。
- ・テキストもあり、事例もあってわかりやすかった。
- ・認知症の人に対する方法として理解できた。
- ・初対面の方と話をするのは正直、緊張したが「笑顔」を出すことによって、とても親近感がわいた。
- ・とてもよかった。知らない人と突然話が出来るのかと思ったけれど、話せるものだとなついた。今後とも参加したいと思った。
- ・体験談がとてもよかった。また、全員で自己紹介をしたのも良かった。
- ・実体験を聴ける機会は少ないので、とても勉強になった。
- ・いろいろな人の介護の体験を聞いて、いろいろな介護があることを知った。これからの介護に役立てていきたい。皆様の話をきいて認知症の世話は大変だと思った。
- ・ご家族の方の思い、本音が聞けて、介護サービスを提供する側として介護のあり方について考えさせられた。貴重な話、ありがとう。

今後の当会の活動や研修・講習のテーマなどの希望はありますか。

- ・傾聴の心の在り方。
- ・認知症サポーターキャラバンがあると言う事を今日初めて知った。もっと世の中の人々に知ってもらえる様アピールして欲しい。
- ・認知症の方の権利を守るための成年後見について。
- ・古武道法による介護術(岡田先生)を学ばせて頂きたい。
- ・大和の福祉を良くしていくための内容をお願いしたい。
- ・フリートーク
- ・当会交流を多くした方が良いと思う。
- ・現場で働いているヘルパー自身の真実の声が聞きたい。ヘルパー講習と現実の介護のギャップの深さを指導する施設側専門職者は現場に添った介護をどの様に考えているのであろうか？

アンケート結果は、お礼の言葉などは割愛させていただき、である調に統一してあります。

